

令和8年度 第1回 大阪府立平野支援学校 学校運営協議会 議事録

大阪府立平野支援学校
校長 山崎 彩

日 時	令和8年6月18日（木） 10:00～12:00
場 所	大阪府立平野支援学校 図書室
構成員	陸奥田 維彦（委員） 山口 一平（委員） 藤松 大樹（委員） 下野 大志（委員） 中野 淳子（委員） 田中 聖香（委員） 山崎 彩（校長） 井本 勇気（教頭） 橋本 伸彦（教頭） 加藤 孝（事務長） 日置 優介（首席） 橋本 万以子（首席） 玉井 実加（指導教諭） 阪本 祥子（小学部主事） 崎濱 真人（中学部主事） 服部 麻衣子（高等部主事）
次第	（1）令和8年度 委員紹介 （2）授業見学 小学部6年生「おんがく」 （3）令和8年度使用教科書について （4）学校経営の進捗状況 ①小学部の指導体制 ②令和8年度学校経営計画 （5）協議
意見等の概要	（2）授業見学について 教員がハンドベルの音を一音ずつ丁寧に鳴らし、児童に音の響きを味わわせていたことや、教員が児童一人ひとりの反応を丁寧に見取っていたことが評価された。 児童の興味・関心や好きなこと、苦手なことについて、教員間でどのように共有しているのか質問があった。また、場所へのこだわりや情緒面の課題などにより授業参加が難しい場合の対応について質問があった。 （4）学校経営の進捗状況について ①小学部の指導体制 教員が子どもの目線に立ち、一人ひとりを大切にしようとする姿勢が学校全体に感じられるとの評価をいただいた。 就学前保護者向け研修会で、本校の保護者から「どの先生に相談しても親身に対応してくれる学校」と紹介されていたことが報告され、本校の保護者支援の取組みについて評価をいただいた。 ②令和8年度学校経営計画 洪水時などに車いす利用の児童生徒を上階へ避難させる場合を想定した準備や体制づくりについて検討が必要との意見があった。 ICT 機器やタブレット端末については保護者の要望も高く、依存に配慮しながらも積極的に活用を進めてほしいとの助言があった。 働き方改革については、教職員の心身の健康が子どもたちへの教育や支援の質につながるため、引き続き推進してほしいとの意見があった。また、「子どものために今できていないことは何か」という視点から業務を見直し、目的を明確にしながら働き方改革を進めることが大切であるとの助言をいただいた。 障がいのある子どもの自立や自己実現、将来の幸せを見据えた教育の重要性について意見があり、そのためには本人や保護者との対話を重ね、家庭と学校が連携して支援を進めることが必要であるとの助言をいただいた。
備 考	・傍聴者なし ・第2回開催予定 令和8年11月19日（木） 10:00～12:00 ・第3回開催予定 令和9年2月19日（金） 10:00～12:00